

令和元年度12月18日
安来市立布部小学校保健室

「布部で育って、医者になって」

12月13日に学校医の中西先生の授業がありました。今回の授業では布部で生まれ育ち、医師という道に進まれた中西先生の話から先生自身の話や医師という仕事について話を聞きました。

最初は海外で仕事をされるも、英語が話せずつらい思いをされた時期もあったそうです。でも諦めず頑張ってくられ、今では、世界中の人々の心臓の手術を施し、これまで約1万人の人々の命を救ってこられたそうです。

他にも医師の仕事として、診療、大学生の授業、ips細胞の研究、子どもたちへの命の授業など、多岐にわたる仕事をしている話をされました。

そして、布部のために何かできなかつたと思われ、平成29年に布部に診療所を開設されました。旧友との触れ合いや趣味の農業を楽しみながら仕事をされているそうです。



～子供たちの質問から～

Q：楽しかったことは何ですか？

A：いやなことでも続けていけば楽しくなってくる。新しいことや勉強も続けていけばできるようになって楽しくなる。

Q：元気クリニックは1日どのくらい患者さんが来ますか？

A：一番多い時で40人くらい、少ない時で10人くらい。一人でやっているからちょうどいい

Q：なんでお医者さんになったのですか？

A：病気の人を治す仕事をしたい。一人でもできる仕事だから。



Q：心臓の手術こわくないですか？

A：最初は怖かったけど、毎日同じことをやっていると、できるようになってくる。続けていくことが大事。

子どもの生活習慣について語りました

中西先生の授業後、学校保健委員会を行いました。

朝ごはんについては、平日は仕事などで一緒に朝ごはんを食べることが難しいご家庭もあるようです。なるべく一緒に食べることや、早く起きてご飯を食べる時間を確保することも大切なのではないかという意見もありました。

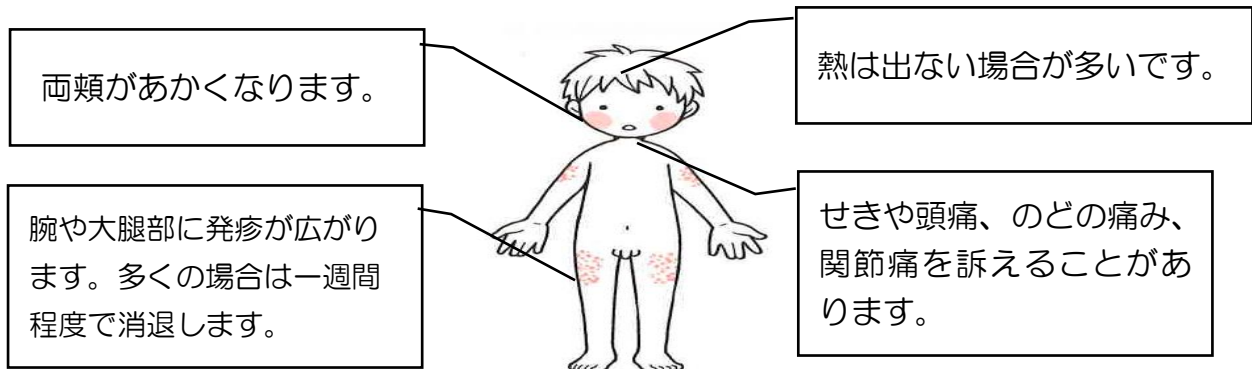
運動については、スポ少をやっている子は十分に運動ができていますが、それ以外のお子さんは運動する機会も少ないです。体育館を活用できるようにしたいという思いや、外遊びをさせてはどうかという意見が出ました。

テレビやゲーム、SNSといった**メディア**についてはどの家庭でも課題のようです。時間や内容についてのルール作りも必要ですが、「何してるの」という声掛けをして親子のやり取りを増やしていくことや、子どもがどのような使い方をしているか親も知っておくことも必要という意見もありました。

学校としても、これまで通り生活習慣についての取り組みを続けていくとともに、保健指導や学級での情報モラル教育、そして講師の先生を招いてメディアとのかかわり方についての講演等の機会を設けていきたいと思えます。生活習慣の取り組みについては、家庭の協力が必要です。学校でやっている取組などを保護者のみなさんと共有し、一緒に取り組んでいきたいと思えます。

伝染性紅斑(りんご病)が流行っています。

布部小学校では伝染性紅斑(りんご病)が流行っています。ヒトパルボウイルスの感染によって起こります。潜伏期間は4～21日です。他者への感染しうる期間も潜伏期の範囲内で、発症した時には他者への感染力は失われています。



※全身状態が良ければ登校が可能です。

インフルエンザが流行っています。

全国的にインフルエンザが流行ってきました。広瀬町内の小学校でも単発ではありますがインフルエンザ罹患者の報告がありました。これから流行してくると思われるので手洗い・うがいを中心に予防を心がけていただきますようお願いいたします。

インフルエンザに罹患した場合、学校保健安全法に従って「**発症した後5日が経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで**」は出席停止とさせていただきます。

